

年末年始 伊勢神宮（内宮）周辺パーク&バスライド社会実験

中部地方整備局 紀勢国道事務所 調査設計課 調査係長 石田 英之

1. 要 旨

伊勢神宮内宮には正月三が日で40万人を超える参拝客が訪れ、周辺駐車場が満車となりあふれた車で伊勢自動車道や国道23号などのアクセス道路は激しい渋滞が発生しています。

そこで、この問題を解決するため地域代表・民間企業・行政機関が一体となり「内宮周辺交通渋滞対策協議会」を組織し、年末年始においてシャトルバスによるパーク&バスライド社会実験を実施することとしました。

実施にあたっては、シャトルバスのルート、周辺道路の交通規制、利用者への広報、関係機関の役割分担、実験当日の運営方法など数多くの課題を幾度かにわたる関係機関協議において解決し社会実験を実施することができました。

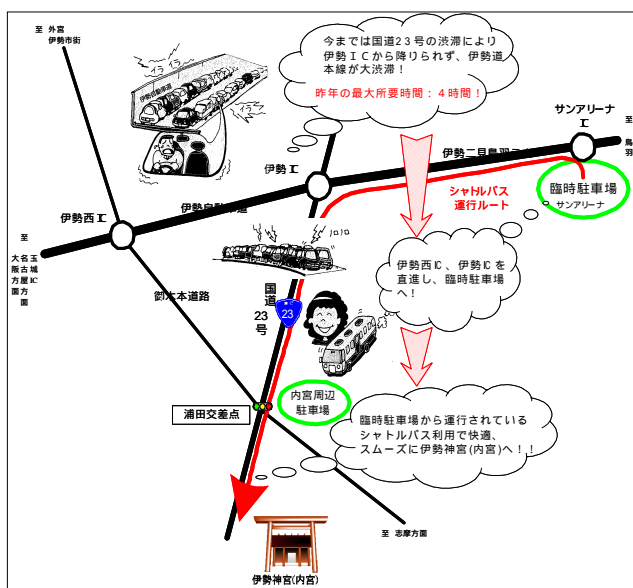
社会実験の成果として、伊勢自動車道の最大渋滞長が13.9 km から2.2 km へと大幅に減少しました。また日本道路公団へ寄せられた苦情も5,000件から2件へと激減し、利用者満足度調査では5段階評価で4.4となるなど、社会実験に参加頂いた方からも好評を頂きました。

2. 本 文

2.1 内宮周辺の現状と課題

伊勢神宮内宮周辺の渋滞は初詣り客による集中交通によるもので、年末年始に限定された一時的に発生する課題です。

この何十年も毎年繰り返される年末年始の渋滞のため、自動車で初詣りをする方にとって”渋滞は付き物”という認識が定着し、近年においては参拝客も年々減少するとともに、伊勢志摩地域への観光客も減少傾向でにぎわいの復活が地域の課題となっています。



【図 - 1 : パーク&バスライド社会実験のイメージ】

2.2 パーク&バスライド社会実験の概要 (図 - 1)

実施時期 : H15.12.31 22時 ~ H16.1.1 16時
H16.1.2 9時 ~ H16.1.2 16時
H16.1.3 9時 ~ H16.1.3 16時

実施箇所 : 伊勢神宮(内宮) ~ 県営サンアリーナ

実験目的 : 正月時期における内宮周辺の交通渋滞解消・緩和

実験内容 : 県営サンアリーナをP&B R駐車場として参拝客を内宮までシャトルバス35台で輸送

実施主体 : 内宮周辺交通渋滞対策協議会(会長:松井 寛 名城大学教授)

2.3 パーク&バスライド社会実験の成果

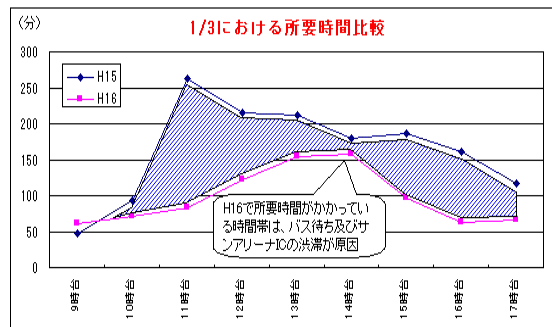
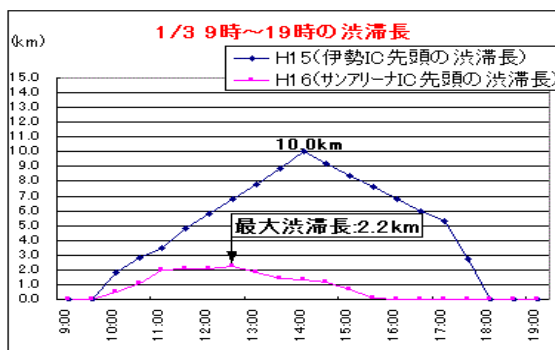
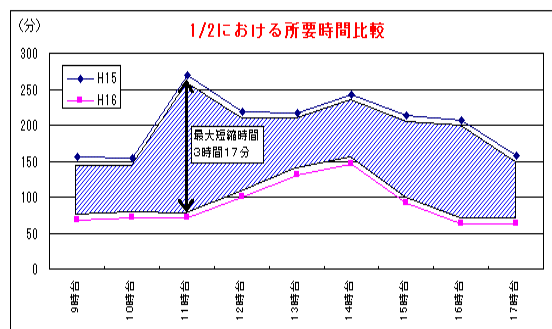
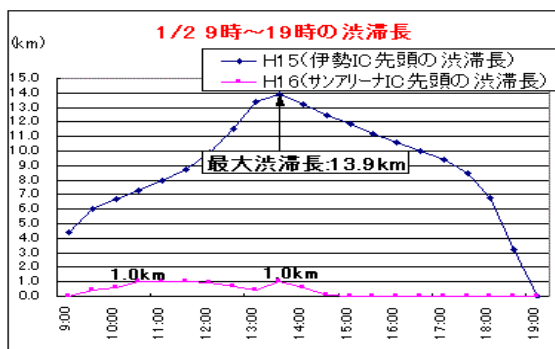
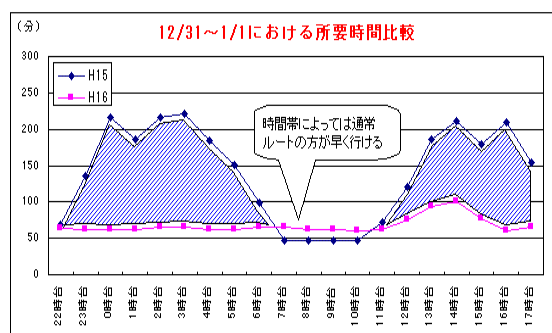
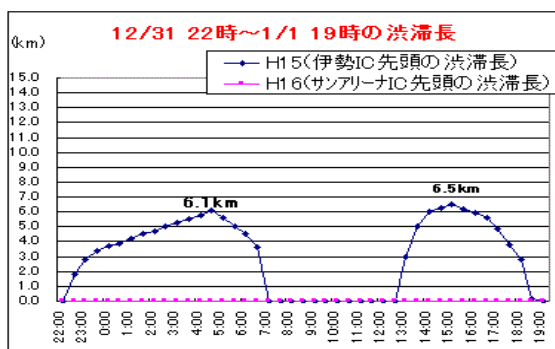
2.3.1 伊勢自動車道の渋滞緩和

正月3日が日の最大渋滞長は、平成15年の13.9kmが平成16年は2.2kmとなり大幅に減少しました。日付別にみると、元日において渋滞は完全解消、2日・3日はピーク時に集中した車両により県営サンアリーナ駐車場入り口において渋滞が発生していますが、昨年と比較すると大幅な改善が図られました。(図-2)

正月3日における勢和多気ICから内宮までの往復47kmの渋滞損失時間は、平成15年の91,213時間から平成16年は31,936時間となり約59,000時間削減することができました。

所要時間を比較してみると、3日が平均で1時間24分の短縮、最大では2日の午前11時に3時間17分の短縮が図られるなど今回の社会実験によって所要時間の平準化を図ることができました。(図-3)

また、正月3日に日本道路公団に寄せられた苦情が、平成15年に5,000件を超えていたものが平成16年は2件となるなど利用者の不満も改善されたことが伺えます。



※図の青線部がパーク&バスライド社会実験の効果を表す。

【図-2：社会実験における渋滞長の比較】

【図-3：社会実験における所要時間の比較】

2.3.2 国道23号の渋滞緩和

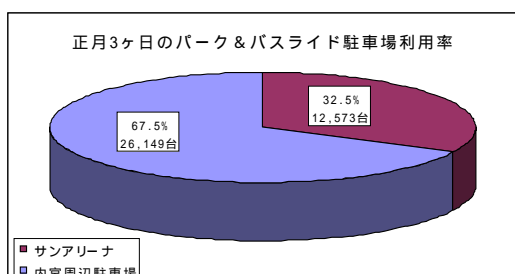
実験時においても2～3 km程度の渋滞は発生しましたが、伊勢ICから内宮間においては、例年に比べると車の流れはスムーズでした。これは駐車場が内宮周辺と県営サンアリーナに分散されたため、内宮周辺駐車場の利用がスムーズになり駐車待ち車両が減少したためと考えられます。

2.3.3 パーク&バスライドの利用状況

今回の実験において、パーク&バスライド駐車場の利用台数は約12,500台で、正月3日が日に伊勢神宮内宮にマイカーで訪れた方の3割強にあたります。

(図-4、写真-1)

シャトルバスは、県営サンアリーナから内宮間の片道7.5 kmを15分以内でスムーズに運行しシャトルバス専用レーン導入の効果は発揮されました。(写真-2)



【図-4：社会実験における駐車場利用率】



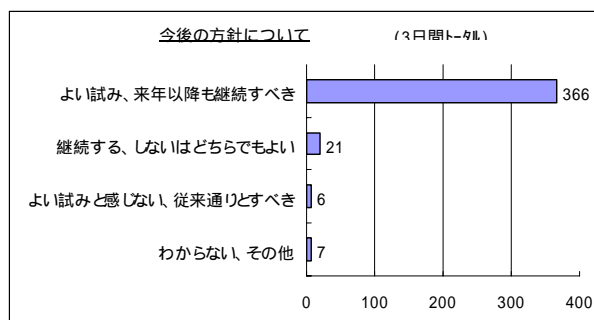
【写真-1：県営サンアリーナ臨時駐車場の状況】



【写真-2：渋滞を横目に走り抜けるシャトルバス】

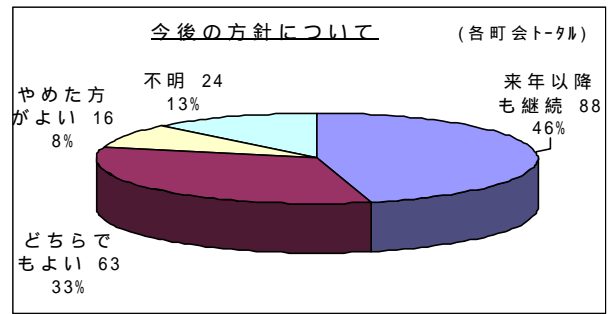
シャトルバス利用者へのアンケート結果においても、満足度は5段階評価で4.4ポイントと良好で、9割の方が「良い試みなので、来年以降も継続すべき」との回答を頂きました。

(図-5)



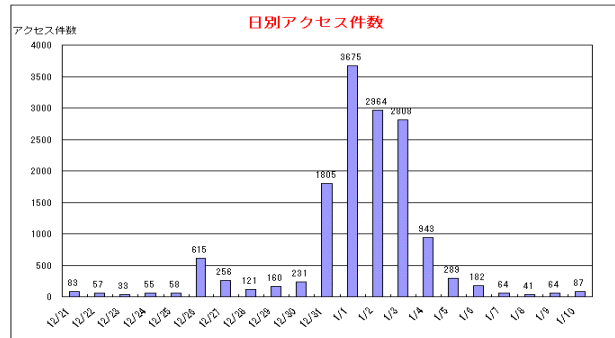
【図-5：シャトルバス利用者へのアンケート結果】

また、社会実験の実施に伴う地元の方へのアンケート結果においても、「交通状況は実施前よりスムーズ」との回答が4割を越え、社会実験の継続を望む方がやめた方がよいと答えた方を大幅に上回り、地元からも賛成する声を頂いています。(図 - 6)



【図 - 6 : 地元の方へのアンケート結果】

社会実験実施中は携帯電話を活用し、駐車場案内(満空情報)、シャトルバスの所要時間、国道23号の渋滞長をリアルタイムで情報提供を行ないました。実験期間中のアクセス件数は約11,200件でパーク&バスライド利用台数とほぼ同数の利用件数がありました。(図 - 7)



【図 - 7 : 携帯電話へのアクセス状況】

2.4 本格実施向けの課題

運営面での課題としては、夕方ピーク時における内宮前でのバス待ち時間の改善、県営サンアリーナ駐車場における料金収受、案内誘導等の改善について検討が必要であると考えます。

また、本格実施に向けて、採算性の検討、民間主導への移行が必要不可欠であり、今後協議会の場で活発な意見交換が必要であると考えます。

3. むすび

今まで「正月時期の渋滞は仕方がない」とあきらめて誰もが重い腰を上げなかったが、今回の社会実験の実施に向けて地域代表・民間企業・行政機関が一体となり汗をかき知恵を出し合った結果、伊勢神宮内宮周辺の交通渋滞は改善出来ることが実証できました。

社会実験終了後に開催された協議会で、地域代表の方が「行政だけでなく、民間や地域が組織に参加し協議出来たことが一つの成功である。社会実験により正月3が日の車の流れも良かった。今回の取り組みがこの地域の活性化につながればと思う。」と発言を頂きました。この一言が全てを物語っている様に思われます。

協議会では今年度の年末年始も引き続き社会実験を予定しており、継続することで地域にパーク&バスライドが定着し、初詣り渋滞が解消され伊勢志摩地域の活性化、にぎわいにつながることを期待します。